

ルーチカ図鑑

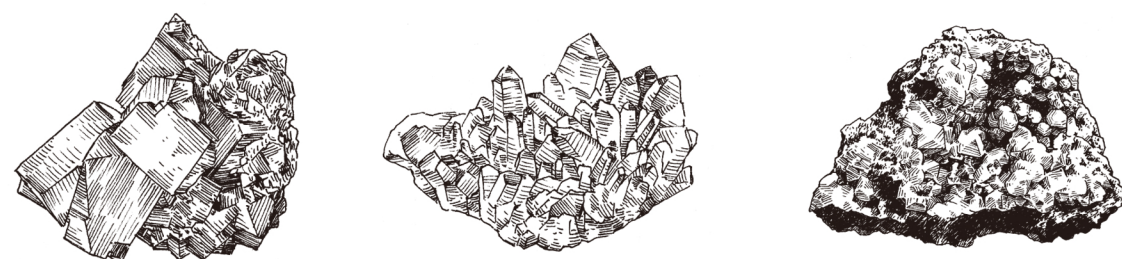


図鑑といっても世の中にある立派な図鑑とは全く違うもので、ルーチカ2人の自由研究をまとめた小冊子、つまりは自由研究ノートのようなものです。自分たちの身の丈に合わせて、興味を持っているものを対象に調べたり、勉強し直したりもして、その興味ゆえにこれまで得てきた知識や雑学を、再度小さなノートに集結させました。

「鉱物」については、所有する(していた)小さな標本をもとに博物画を描いています。雑学については鉱物販売をするにあたって大学の通信講座で得た知識やこれまでに縁のあった鉱物業者さんのお話などをもとにしています。

第一巻 ルーチカ図鑑 鉱物 I ページ数: 16p

内 容: 図 鑑 / 炭酸塩鉱物、ハロゲン化鉱物
おまけ / 実験: 螢石を燃やす
ルーチカの博物学ノート: シュツルンツ分類、炭酸塩鉱物、硝酸塩鉱物、ハロゲン化鉱物
創作ストーリー: 「螢石の幻想」



ドールショウのこと

都立産業貿易センター 浜松町館

ドールショウには2010年1月のドールショウ27冬から参加しています。現在、ドールショウ41秋に参加予定です(確定の前にこの原稿を書いています)。その後も申込みはする予定ですが、ドールショウ自体が2015年9月をFinalと公表していて、きらら&KentStudioもこの予定で、参加内容テーマを決めました。

2014年9月15日(月・祝)は『結晶屋』。これは今年1月の『結晶研究所』からの流れです。ステルクララの森の奥、内地との境界である稜線近くにひっそりと佇む結晶研究所。ここではさまざまな結晶の研究と結晶の育成などを行っています。9月の『結晶屋』はステルクララの町の中にあり、結晶研究所で育成された人工結晶や鉱物を劈開割した八面体、結晶研究の書籍などを販売しています。

2015年1月12日(月・祝)は『魔法薬局 II』。魔法薬局については2011年1月に『中世魔法薬局』というタイトルにてドールショウ30冬に参加したのですが、その後『魔法薬局』と名称を短くしてきらら舎アイテムのカテゴリーとなり、同時にステルクララにある店となりました。『魔法薬局 II』では、既存の魔法薬に新しいアイテムを加えて、さらに魔法図鑑も改訂版を発行する予定です。

2015年5月は『昭和の学校 II』。昭和の学校は2011年5月にSFサイズの教室を作ってドールショウ31初夏に参加しました。『昭和の学校 II』では40cmサイズの学校机と美術机を並べた教室を作ります。

Finalである2015年9月は『鉱物カフェ』。現在のカフェをデフォルメして再現。鉱物標本棚、机、古い博物画に囲まれて珈琲や曹達を愉しむカフェのセットを作る予定です。

第二巻 ルーチカ図鑑 鉱物 II ページ数: 24p

内 容: 図 鑑 / 珪酸塩鉱物
おまけ / 実験: 水晶を観る・聴く
ルーチカの博物学ノート: クランツ木製鉱物結晶形態模型、珪酸塩鉱物
創作ストーリー: 「水晶の中の螺旋階段」

「鳥の卵と羽」では、日本に棲息しているルーチカが気になる鳥の羽と卵を研究観察してみました。飼うという視点ではなく、野生の鳥の研究観察で、「羽」と「卵」というモチーフが好きなルーチカなので、それに焦点を絞っています。

第三巻 ルーチカ図鑑 鳥の卵と羽 ページ数: 24p

内 容: 図 鑑 / 鳥の卵と羽
鳥類図鑑、卵図鑑、鳥データ、羽の形、卵の形と構造、棲息地で見たい鳥
おまけ / 実験: 水晶を観る・聴く
考察ノート: ダーウィンフィンチのこと
フィールドノート: 鳥の羽根を探しにでかけよう
工作ノート: 羽根ペンを作る
創作ストーリー: 「アオアズマヤドリの記憶」



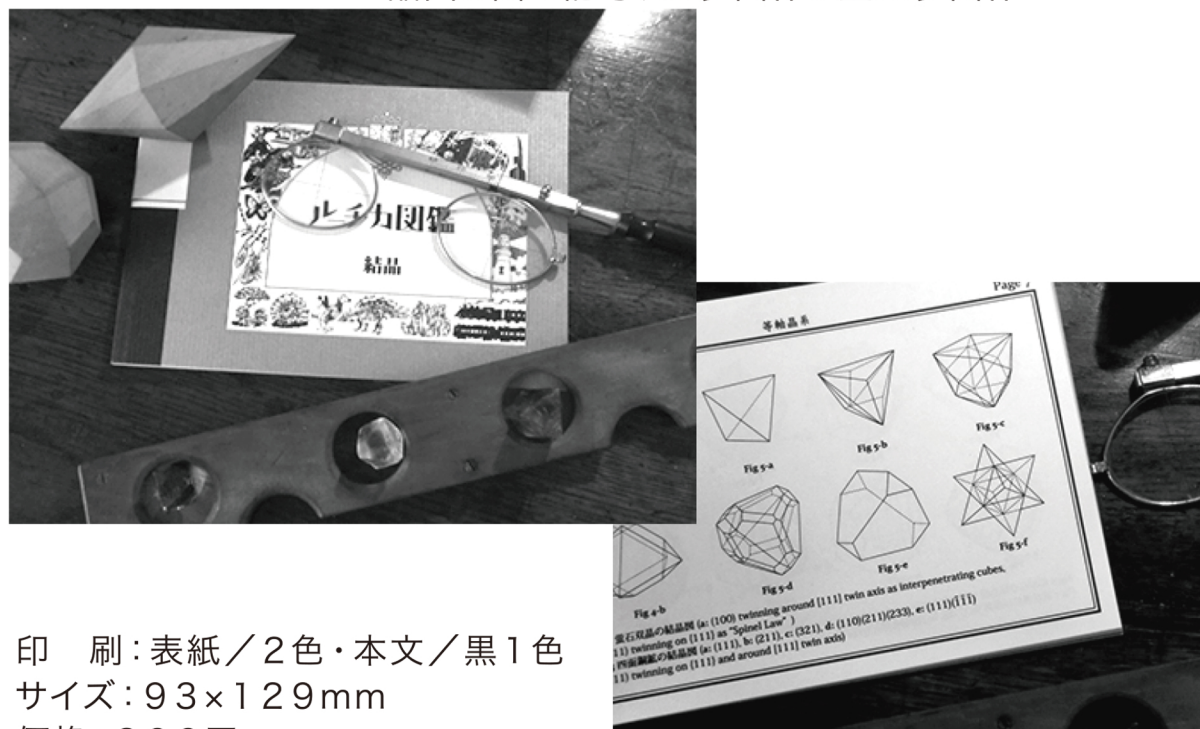
ルーチカ(Ruchka)のこと

ルーチカは友人のTOKOさんと2006年に立ち上げたユニットです。当初は、2人が「懂れて卒業できない学校」をコンセプトに、毎回テーマを決めてカフェイベントを開催し、それに合わせたグッズを製作していました。また、イベントのパンフレットとグッズのカタログを兼ねた『ルーチカ手帖』も編集発行していました。その間に取り巻く環境なども大きく変わり、一昨年末、自分たちが「懂れて卒業できない学校」には「博物学」の要素がとても強いことに気づきルーチカ手帖を2012年で終了し、2013年からはルーチカ図鑑の制作を始めました。

第四巻 ルーチカ図鑑 結晶 ページ数: 34p

内 容: 図 鑑 / 諸言・世界結晶年2014、結晶図鑑、紙製鉱物結晶形態模型

おまけ / 鉱物結晶形態模型の工作、結晶で遊ぼう!、鉱物の結晶図と面の記号、正多面体と星型多面体



印 刷: 表紙 / 2色・本文 / 黒1色
サイズ: 93×129mm
価格: 300円

補足詳細はルーチカブログをご覧ください。

<http://ruchka-info.stelklara.net/>

Kent Studio

Tweet #001

以前カフェにて鉱石ラジオのワークショップをやっておりました。カフェには今までの作品を3つほど展示しています。現在は販売用に製作したものの在庫があるだけで、新作は作っておりませんが、虫の音が聴こえなくなる晩秋から冬の夜、空中を飛び交う電波をひんやりと美しい石で拾ってみる時間もまた、楽しいものです。



Kent Studio

Tweet #002

この秋から新しいワークショップを始めます。第一の目的はハンダの使い方とコツを覚えていただくのですが、いくつかのレベル別にガラスのアクセサリーや雑貨を作れます。

スチームパンク東方研究所 4 理科趣味の部屋

160p★フルカラー★B5変型 株式会社グラフィック社発行



SIMACIMA JOURNAL

カフェスタッフBlackSheep@縞子による活動記録

「ワークショップの見本を作ってみた」
7月はテーマ「マリンフェア」に合わせて貝やサンゴ、ヒトデを使って薬瓶の中に海辺の風景を作りました。同じテーマ、ほぼ同じ材料を使っても皆様違った作品になり、さらに材料を持ち込まれたり、特徴のある鉱物をメインに使うことで『一点もの』の作品が生まれています。わたしは薬びんにアクアマリンを油、珊瑚砂を浜辺にみだてて、薬びんに珊瑚砂を入れてシーブッシュと呼ばれる小枝の流水みたいなものをカラーージュしてみました。縞々好きなので貝殻モシガイという縞々な貝を使っています。お好みで珊瑚砂に蛍光砂を混ぜて砂も光るようになります。また予め立てやすいように樹脂の台がついている水晶などもご用意しています。これが蛍光蓄光します。光が水晶にも映りこんで綺麗です。

「蛍石を割ってみた」
4月から新しく始まった蛍石の八面体へき開割のワークショップ。蛍石のへき開と八面体を体感できます。へき開(割れやすい特定)の方向を見つけて成形して、成形過程で出た破片からより小さい八面体を・・・難易度は高いですが、ワークショップリピーターのお客様が出られるほど、中毒性が高いワークショップです。

BlackSheepのこと
ドールショウにはきらら舎&KentStudioと合体参加をしています。9月のドールショウテーマが「結晶屋」とのことなので、BlackSheepでは結晶屋の作業服兼制服である、オーバーオールを製作しています。結晶を作っている工房の人というイメージで本体の一部と付属アクセサリーに革を使い少しタフな感じになりました。きらら舎との連動企画としてポケットに産地はランダムで蛍石を忍ばせる予定です。

<http://blacksheep.littlestar.jp>

BlackSheep

★ ★ ★ ★ ★

「結晶を売る店」
結晶を売る店の海産物作製として、オーバーオールをサロペットスカートを作りました。裏紙付きのアクセサリー、帽子等をセットにしました。後ろのポケットには小さな蛍石をひとつ忍ばせています。(写真の蛍石はイメージです)

<http://blacksheep.littlestar.jp/>